

## 梅沢クラブ東北大会で2位

9月16日(土)、17日(日)の両日、福島県会津若松市で、第5回東北小学生女子ソフトボール大会が開催されました。東北各県代表の8チームが戦い、青森県代表である当町の梅沢クラブが、見事準優勝という素晴らしい成績を収めました。

決勝戦の相手チームは、昨年の優勝チームの藤沢レッドファイターズ(岩手県)。相手ピッチャーの好ピッチングに梅沢打線は惜しくも得点ならず。キャプテンの小山内茜さん(6年)は「各県代表のチームと戦えたのが嬉しかった。決勝までいったからには優勝したかった」と感想を述べていました。来年卒業の6年生4人は、「中学校でもソフトボールを続けます」と力強く話してくれました。



△皆さんのたくさんの応援ありがとうございました



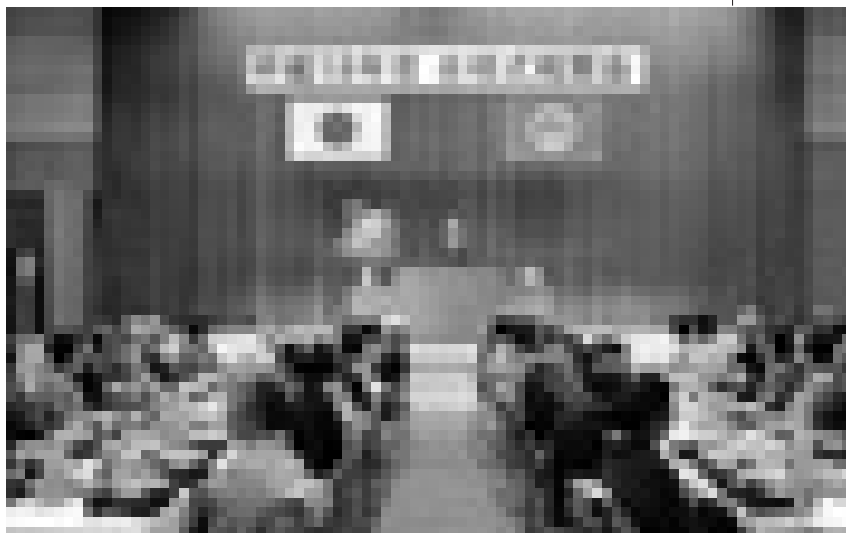
あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場企画課広報国際係までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線264)

## 夫婦共に歩んだ50年に感謝

10月8日(日)、国際交流会館で、金婚式祝賀会が行われ、対象夫婦53組のうち34組66人が出席し、夫婦50年のお祝いをしました。

中野町長のあいさつ、来賓の祝辞の後、対象夫婦には顕彰状と記念品(金の夫婦人形)が贈呈され、夫婦を代表して成田一藏さん・キミさん夫妻(桜町)は「健康であったことで今日の金婚式を迎えることができました。今ようやく夫婦水入らずの人生を楽しむときが来たと思っています」と謝辞を述べました。

祝賀会では五ツ太鼓、三味線や民謡などのアトラクションを鑑賞しながら、思い出話を花を咲かせ会食を楽しみました。



△記念すべき金婚式、あでやかな和服姿が多く見られました

## 全国へスチューベンを届けます

10月11日（水）、スチューベンゆうパックの出発式が道の駅「あるじゃ」で行われました。鶴田郵便局は平成8年度から「ゆうパック」でのスチューベン販売を始め、今年で10周年を迎えました。今日出発した第1号便の653ケースは、北海道から沖縄までと日本全国に郵送されます。

成田仁鶴田郵便局長は「安全でおいしく健康にも良いスチューベンは、多くの方々から好評をいただいております。昨年は8,000ケースを販売しました。今年は10,000ケースを目指してがんばりたいです」と意気込みを話していました。



△「スチューベンもぎたて便」を見送る水元保育園児たち

## 英語で世界中の人々と交流

10月19日（木）、<sup>こだちすいがく</sup>木立随学さんが当町の中学校と高校を訪れ、ご自身のこれまでの活動生き方などについてお話をしてくれました。

木立さんは板柳町出身で現在はオレゴン州のポートランド市に在住。当町とフッドリバー市との姉妹都市締結の際に、大変ご尽力された方です。毎年中学生大使がフッドリバー市を訪問した際には、ご自身が名誉教授を務めるルイス・アンド・クラーク大学を案内してくださるなど、国際交流にご協力いただいています。木立さんは「英語を勉強することは世界を学ぶことになる。英語を学んで欲しい」と熱く生徒たちに語ってくださいました。



△多くの国際人が輩出されることを希望しますと語る木立さん

## ブラックバスに負けないで！

10月29日（日）、町観光協会と菖蒲川小学校5、6年生30人が津軽富士見湖に、約3,000匹（総重量約550キロ）のヘラブナの稚魚を放流しました。

津軽富士見湖では、毎年春に「全国へら鮎釣り大会」が開催され、多くのファンが全国から集まってきます。同協会ではファンに楽しんでもらおうと、10年前から放流を続けています。児童たちは重いケースを湖岸まで何往復もしながら運び「大きく育てね」「食べられないようにがんばって」と声を掛けながら、体長20センチほどの稚魚を放流しました。



△1ケースには約20キロの稚魚が、力を合わせてヨイショ！